

平成24年度国立大学図書館協会賞審査結果報告

1. 応募区分 : 図書館活動における功績
2. 対象者 : 山口大学情報環境部学術情報課職員
3. 件名 : 山口大学図書館における林家文書目録データベース作成事業
4. 結果 : 採択
5. 理由 : 本件は、山口大学図書館所蔵の地域資料である林家文書（全 4,950点）の目録データベースを作成し、図書館のウェブサイトから公開したものである。

図書館の日常業務になりにくい古文書整理を行うために、図書館職員・図書館OB・学内外教員・ボランティアなどからなる研究会を作り、勉強会・授業参加などでメンバーのスキル向上を図り、入力したデータについては教員によるチェックをおこなう体制を作った。

図書館職員の古文書目録作成スキルの向上とその継承を可能とする体制を業務の中に組み込んだことは、業務の改善・向上に大いに寄与している。さらに、地域資料の収集・目録作成・公開は、大学図書館の重要な地域貢献といえる。

山口大学のこれら一連の活動は、次の点で「国立大学図書館協会賞選考基準」第4条第1項第2号に該当するものとして国立大学図書館協会賞に推薦する。

- (1) 既に作成されていた冊子体の目録の電子化ではなく、再度現物から目録入力を行い、近年のアーカイブ学（記録史料学）の成果をふまえたデータ構造をもつ目録データベースと、目録データを多面的に検索可能とする検索システムを構築し、公開したことで、利用者に多大の便宜をもたらすと認められる。
- (2) 大規模大学図書館にあるような研究開発室のない図書館において、重要な地域資料である林家文書群について、研究者の要求にも応えられる正確性を持った検索ツールを作成した実践例として顕著な意義を有する。